報道関係者各位

2019 年 8 月 28 日
株式会社パルコ　エンタテインメント事業部

PARCO劇場

オープニングシリーズ　ラインナップ発表

～2020 年 3 月 13 日グランドオープン～

株式会社パルコ エンタテインメント事業部は、2020 年 3 月 13 日に渋谷 PARCO（2019 年 11 月 22 日開業予定）の 8 階に PARCO 劇場をグランドオープンし、既に発表した 2020 年 1 月下旬からのこけら落とし公演（「志の輔らくご in PARCO 2020」「ラヴ・レターズ」）に続き、2020 年 3 月 13 日より 2021 年 5 月上旬まで、14 作品のオープニングシリーズ公演を行います。

オープニングシリーズでは、PARCO 劇場ゆかりの戯曲を新たな演出・キャストで上演する企画や、これまでに共に作品を生み出してきたクリエーター・キャストとの意欲的な新作などをラインナップ。現代日本トップクラスの作品、世界水準の舞台の創出を目指します。

1973 年のオープン（当時の名称は西武劇場）以来、先進の DNA は受け継ぎ、伝統を更新しながら、これからも新しい作品をお届けしてまいります。

636 席、オール S 席のプレミアムシアターで、最高の時間をご体験下さい。

つきましては、情報のご掲載や今後のご取材等をご検討くださいますようお願い申し上げます。

PARCO 劇場オープニングシリーズ・ラインナップ

2020 年 3 月 13 日（金）-4 月 20 日（月）「ピサロ」

作：ピーター・シェーファー　翻訳：伊丹十三　演出：ウィル・タケット
出演：渡辺謙 ほか

「ピサロ」イメージ写真

オープニングシリーズの一作目を飾るのは、渡辺謙主演「ピサロ」。35 年前、本戯曲でインカ王アタワルパを演じた渡辺謙がピサロ役に挑む。人類史上繰り返される異なる概念、宗教、文化間の衝突を二人の男を通して、今を生きる我々に問う。演出にウィル・タケットを迎え、新たな息吹を吹き込む。

ピーター・シェーファーの壮大な歴史劇「ピサロ」（原題：The Royal Hunt of The Sun）は、1985 年、旧 PARCO 劇場でテレンス・ナップ演出、山崎努主演で上演された伝説的作品。渡辺謙はこの作品で若きインカ王アタワルパに抜擢され注目を集めた。35 年の時を経て、堂々の凱旋を果たす。

＜渡辺謙コメント＞
「ピサロ」は俳優を一生の仕事としてやっていく覚悟が決まった舞台でした。俳優として自分が、ここ（旧 PARCO 劇場）で生まれたんだという実感があるエポックな劇場と戯曲です。今年 60 歳という人生の節目に、新生 PARCO 劇場で再びこの戯曲に立ち向かえることを運命だと感じています。もう一度 Reborn するためにこの作品があるような気がしています。そして、自分をもう一度更地に戻して、そこから自分の中にあるものを自身に問う旅になる気がします。

「ピサロ」作品ページ：https://stage.parco.jp/program/pizarro

2020 年 5 月「佐渡島他吉の生涯」

佐々木蔵之介

原作：織田作之助「わが町」より　脚本：椎名龍治　潤色：森繁久彌　演出：森新太郎
出演：佐々木蔵之介 ほか

名優・森繁久彌のあたり役・他吉に佐々木蔵之介が挑む。明治、大正、昭和を生き抜いた庶民の大河ドラマを、俊英・森新太郎の演出で骨太に感動的に描く。
織田作之助の小説「わが町」原作として 1959 年に初演された庶民の大河ドラマの傑作。大阪の人力車夫・他ぁやん一家が、時代の波に翻弄されつつもたくましく生き抜く物語。PARCO 劇場で様々な作品に様々な演出家とトライしてきた佐々木蔵之介が、森新太郎とのタッグで新しい他吉を誕生させる。

＜森新太郎コメント＞
いつか佐々木蔵之介さんと喜劇が作りたかった、いつか織田作之助の描く逞しき人間ドラマに挑戦したかったーーその両方が新しい PARCO 劇場で叶うこととなりました。森繁久彌さんが紡いできた昭和の傑作に新しい息吹を吹き込めたらと思います。

＜佐々木蔵之介コメント＞
PARCO 劇場オープニングシリーズの作品に参加出来ることを、大変光栄に思います。初めて PARCO 劇場の舞台に立ったのは 21 年前。まだ 20 代でした。関西の劇団に在籍していた私にとって、劇場も渋谷の街も新鮮で刺激的でした。以来、沢山の作品とお客様と出逢える機会を頂きました。2020 年、あの頃と変わらぬ気持ちで、新しい PARCO 劇場の舞台に立ちたいと思います。

― 三谷幸喜 三作品連続公演　2020 年 6-8 月 ―

三谷幸喜

三谷幸喜の作・演出作品を 2020 年の 6 月より三作品連続で上演いたします。

＜三谷幸喜コメント＞
初めて PARCO 劇場に書き下ろしたのは 1994 年「出口なし！」。それ以来、この劇場は僕にとってのホームグラウンドです。生まれ変わった新生 PARCO 劇場での第 1 作目は、オールスターキャストの群像劇。僕の集大成であり、三谷流の「俳優論」にもなっています。そして PARCO 劇場といえば「ショーガール」。三谷文楽「其礼成心中」もありますからね！

2020 年 6-8 月「大地」

作・演出：三谷幸喜
出演：大泉洋 ほか

大泉洋

これは役者についての物語。演じるとは何か?笑うとは何か？生きるとは何か？
三谷幸喜が新生・PARCO 劇場に書き下ろす第一作は三谷流俳優論。
1994 年「出口なし！」で PARCO 劇場に初めて書き下ろして以来、数々の傑作を PARCO 劇場で発表してきた三谷幸喜が、新生 PARCO 劇場に書き下ろす新作は三谷流俳優論。読売演劇大賞受賞の「国民の映画」（11・14 年）に続く、歴史と芸術を巡る群像劇の幕が上がる。

＜大泉洋コメント＞
敬愛する三谷さんの新作で新生 PARCO 劇場の舞台に立つことになりました。今回のテーマは三谷流俳優論とのこと。俳優を知り尽くす三谷さんが一体どんな群像劇を描くのか、楽しみでもあり、怖さもありますが、よき舞台になるよう頑張ります。

2020 年 7 月 PARCO MUSIC STAGE「三谷幸喜のショーガール」

「ショーガール」メインビジュアル

作・演出：三谷幸喜　振付：本間憲一　作曲・編曲：荻野清子
出演：川平慈英　シルビア・グラブ　演奏：荻野清子（ピアノ）　一本茂樹（ベース）　萱谷亮一（ドラムス）

渋谷の夜に大人な時間。三谷幸喜新作「大地」終演後に上演！新しい PARCO 劇場の 22 時に三谷幸喜の「ショーガール」が戻ってくる。
PARCO 劇場伝説のステージ、福田陽一郎の「ショーガール」。その DNA を受け継いだ三谷幸喜版「ショーガール」。大人のコイバナを三谷幸喜の書き下ろし脚本とともに荻野清子の楽曲で贈る、小洒落たショートミュージカルと華やかなショータイム。PARCO 劇場のオープンとともに渋谷の夜 22 時を飾る。

2020 年 8 月三谷文楽「其礼成心中」

「其礼成心中」メインビジュアル

作・演出：三谷幸喜
出演：竹本千歳太夫　鶴澤清介　吉田一輔 ほか

舞台は元禄十六年の大坂。心中流行の曾根崎・天神の森を舞台に繰り広げられる、三谷幸喜の笑いと涙に溢れた人情喜劇。新劇場の夏も三谷文楽で泣き笑い。
文楽の伝統と技芸を忠実に踏襲し、三谷幸喜が文楽の魅力を彼の筆と演出で自由に創作した庶民の喜劇「其礼成心中」。2012 年の初演以来文楽ファンはもとより、文楽ビギナーズへも文楽の魅力を最大限に伝える三谷幸喜の超・古典エンタテインメント。

2020 年 9 月「ゲルニカ」

栗山民也

作：長田育恵　演出：栗山民也

日本を代表する演出家・栗山民也が、演劇界注目の実力派劇作家・長田育恵と初タッグを組んで創り上げる新作舞台。ピカソの絵画「ゲルニカ」に想を得た壮大な人間ドラマ！
スペインの地ゲルニカの悲劇は決して遠い時代の物語ではない。連綿と続く人類史の“負の連鎖”の宿命。現代に生きる全ての人が、今こそ向き合わねばならないテーマを鮮明に浮き彫りにする意欲作！

＜栗山民也コメント＞
なんという、絵だろう。この「ゲルニカ」という一枚の絵から、酷い轟音と無数の人々の声が聞こえる。そこに地獄の光景が重なる。
いつも多彩な油絵の具で描かれるピカソのキャンバスが、この絵に限って、青ざめた表情で血の気を失っている。
この絵から、新しい記憶の物語が生まれるだろう。これは、あったことなのだ。きっと、永遠の仕事になると思う。

2020 年 10 月 ねずみの三銃士 最新作 (タイトル未定)

作：宮藤官九郎　演出：河原雅彦
出演：生瀬勝久　池田成志　古田新太 ほか

ねずみの三銃士が、”ねずみ年”に還って来る! 「鈍獣」（04）「印獣」（09）「万獣こわい」（14）に続いて、今回も豪華ゲストを迎えて贈るシリーズ最新作。
演劇界の最強ユニット“ねずみの三銃士”生瀬勝久・池田成志・古田新太が、脚本の宮藤官九郎、演出の河原雅彦とがっぷり四つに組んで、毎回 PARCO 劇場で上演を企てて来た大人気シリーズ。新生 PARCO 劇場で復活の第 4 弾！

＜ねずみの三銃士コメント＞
2001 年宇宙の旅にときめいていた自分が、2020 年にまだ古き良き芝居をやっているとは・・・先はわからないものです。　生瀬勝久

我々落ちつかなくちゃ世代なんでしょうが、やっぱり、落ち着いちゃいられません。カオスを目指します。　池田成志

成志さんに「そろそろ一緒にやらないか」と言われ、生瀬さんに「そろそろ一緒にやらないか」と言われ、めんどくさいので 3 人でやろうで始まった「ねずみ」。4 回目始まるよ。　古田新太

2020 年 11 月 前川知大 作・演出作品

前川知大

作・演出：前川知大

気鋭の劇作家、演出家の前川知大が、2009 年「狭き門より入れ」、2010 年「抜け穴の会議室～Room No.002～」以来、10 年ぶりに、PARCO 劇場に戻ってくる！
普通の生活のはずなのに、すこしずつ日常がずれていく。今までの自分が正しいのか、すべては虚構なのか…。
何かが違う、その違和感がひたひたと人々を追い詰めていく、追い詰められた先に待っている世界とは…。
SF 的なスケールで、私たちが今を生きている意味を問いかけてくる前川ワールドの真骨頂に乞うご期待！

＜前川知大コメント＞
新しい PARCO 劇場のオープニングラインナップに並べていただき光栄です。いままで PARCO 劇場でやってきた作品の流れからして、自作の中でもスピリチュアルというか、オカルト寄りの作品をもとに、やらせていただこうかと思っています。

2020 年 12 月「チョコレートドーナツ」

宮本亞門

作：トラビス・ファイン　脚本：谷賢一　演出：宮本亞門

日本でもロングランヒットした映画「チョコレートドーナツ」（原題：ANY DAY NOW）を世界で初めて舞台化。居場所、家族、希望、未来を求めて苦闘する人間の姿を、宮本亞門の演出で謳い上げる。
70 年代のヒットソングに彩られたアラン・カミング主演の傑作映画を、宮本亞門が音楽劇として演出。
マイノリティが人間らしく生きることの困難を感動的に描く。

＜宮本亞門コメント＞
新たな PARCO 劇場のオープニングで、僕の心を震わせた映画「チョコレートドーナツ」（原題 ANY DAY NOW）の世界初の舞台化をさせて頂くことにとても興奮しています。最高のキャストとスタッフと共に、心に染みる音楽劇を作ります。どうぞ、ご期待ください。

2021 年 1 月「志の輔らくご in PARCO 2021」

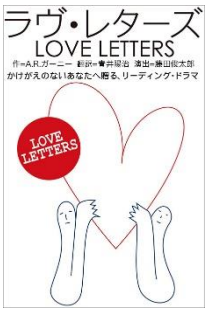
立川志の輔

出演：立川志の輔

正月吉例、「志の輔らくご　in PARCO」。落語会では異例の一か月公演を、2006 年より敢行中！

＜立川志の輔コメント＞
こけら落とし公演に続き、オープニングシリーズのお正月も相努めます。新しい渋谷 PARCO。ただ買い物をするだけではなくて、行けば必ず何か驚きを与えてくれる場所であってほしい。そしてそこを通り抜けた先で、新しい劇場の神様が私にどんな落語をつくらせるのか、今からわくわくしています。

2021 年 1 月「ラヴ・レターズ」



作：A.R.ガーニー　訳：青井陽治　演出：藤田俊太郎

1990 年以来 2021 年には 500 回公演を越える朗読劇の金字塔。青井陽治の志を引き継いだ藤田俊太郎の演出で、アンディーとメリッサが愛を刻み続ける。

＜藤田俊太郎コメント＞
「LOVE LETTERS」を 26 年間、469 回の公演を重ねた翻訳・演出の青井陽治さんは PARCO 劇場をこよなく愛していました。前 PARCO 劇場のクロージングを「LOVE LETTERS」が務めた際、青井さんがこのような言葉を残しています。“愛しい愛しい PARCO 劇場　僕は君と結婚した♡”。2020 年こけら落とし公演&オープニングシリーズ、青井さんの PARCO 劇場への想いをしっかりと胸に抱いて、二人だけの登場人物、アンディーとメリッサの愛を大切に演出していきます。

2021 年 2-3 月「藪原検校（やぶはらけんぎょう）」

市川猿之助

作：井上ひさし　演出：杉原邦生
出演：市川猿之助　ほか

「西武劇場オープニング記念・井上ひさしシリーズ」として、1973 年に初演された傑作を、新生・PARCO 劇場のオープニングシリーズとして上演！次世代の若手演出家、杉原邦生の演出、歌舞伎界の雄・市川猿之助の主演により新たな相貌で蘇る！
落語や講談、歌舞伎でも描かれてきた稀代の悪党を、井上ひさしが傑作一代記に仕立てた本作品は、様々な主演、演出で上演が重ねられてきた。市川猿之助と杉原邦生という次世代を背負って立つ才能が見せつける新生 PARCO 劇場の新生「藪原検校」！

＜杉原邦生コメント＞
大好きな街・渋谷に新生オープンする PARCO 劇場の記念すべきオープニングシリーズに関われること、とても光栄です。前 PARCO 劇場（西武劇場時代）のオープニングを飾った井上ひさしさんの「藪原検校」を、大好きな歌舞伎俳優・市川猿之助さんと共に新たに創造できること、いまから楽しみでなりません。

＜市川猿之助コメント＞
PARCO 劇場オープニングシリーズに出演することが叶い、心より嬉しく思います。伯父の猿翁とも所縁あるこの劇場で、これまた所縁ある井上ひさし作品を上演できますこと、深い縁を感じています。新進気鋭の若き演出家と共に素晴らしい舞台を創り上げ、PARCO 劇場の新たな歴史に第一歩を踏み出したいと思います。

2021 年 3-4 月「レディ・マクベス」（仮題）

天海祐希

作：ジュード・クリスチャン　演出：ウィル・タケット
出演：天海祐希　ほか

注目の女流作家ジュード・クリスチャンが描くマクベス夫人を天海祐希が演じる注目作！
ジュリエットもオフィーリアもデズデモーナも名前があるのに、かの悪名高きマクベス夫人にはなぜ名前がないのか・・・
人間レディ・マクベスを天海祐希が鮮やかに演じる新作舞台。

＜天海祐希コメント＞
マクベス夫人を私が演じるなんて、とても大それていて足がすくむ思いです。でも反対に、だからこそ挑戦しなければ…とも思います。
ジュード・クリスチャンさんの脚本、ウィル・タケットさんの演出で新しい切り口のマクベス夫人を共に作れたらと思います。
素晴らしいスタッフ、共演者の皆様と高い目標に向かい、大いなる楽しみと様々な覚悟を持って、マクベス夫人に挑戦致します。
ぜひ、楽しみにして頂けたらと思います。

2021 年 4-5 月 中井貴一 主演作品

中井貴一

演出：G2
出演：中井貴一　ほか

旧 PARCO 劇場のクロージングシリーズ公演「メルシー!おもてなし～志の輔らくご MIX～」に主演した中井貴一が、オープニングシリーズの掉尾を飾る！
2001 年「二人の噺」で PARCO 劇場に初登場以来、「コンフィダント・絆」、「趣味の部屋」など数々の作品に主演してきた中井貴一。
クロージングシリーズ公演でタッグを組んだ G2 とオープニング公演のステージに登場！

【今後のリリース・スケジュール】
・2019 年 11 月下旬　新生・PARCO 劇場　客席写真公開予定
・2020 年 1 月 15 日（水）予定　舞台上にてオープニングシリーズ記者会見（クリエーター＆キャスト）/ 新生・PARCO 劇場披露

PARCO の演劇情報サイト　パルコステージ　http://www.parco-play.com/

＜本件の報道に関するお問い合わせ＞
株式会社パルコ　エンタテインメント事業部　演劇事業担当:大川慶子
tel:03-3477-5866　mail:theater@parco.jp

＜お客様からのお問い合わせ＞
TEL.03-3477-5858
（月～土 11:00-19:00　日・祝 11:00-15:00）